

「建交労とうきょう」はい
つでもみなさまからの記事
や写真を待っています。

(メール) tohonbuenkouro@sm
ile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労

のとうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820) 8644 (代)
fax 03 (3820) 8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる (〒60円)



バス関連支部(京王新労組)職場内ストライキ集会

た、親会社である京王
電鉄バスでも、定年後
の再雇用者に、定期昇
給1500円が実施さ
れることになりました。
しかし、正社員のベ
ースアップや時間給労働
者の賃上げは実施され
ません。並存する連合
系の労働組合が、春闘
を闘わない事が大きな
要因となっています。
3月11日に行われた
団体交渉では、さらな
る要求の前進を求めて
交渉し、翌日、全日ス
トライキに突入しまし
た。職場内集会では、

長年、バス関連支部(京王新労
組)が、昇給昇格差別や定年退職
後の再雇用差別などについて、裁
判や労働委員会で争っている京王
電鉄及び京王電鉄バスの子会社
「京王バス」で、労働条件の一部
改善が実現しました。
ベースアップ4166円・定期
昇給1500円(年俸月額換算)、
扶養手当4500円、特別休暇年
間15日の獲得です。運転士不足
が続く中、バス関連支部(京王新

労組)は粘り強く要求してきました。
京王バスは、労働条件切り下
げを目的に分社化して作られた会
社ですが、バス関連支部(京王新
労組)は、労働者にとって良い労
働条件が整わなければ、安全・安
心は保たれないと、毎年、様々な
要求を掲げてたかつかってきました。
この度の前進は、その不屈のたた
かいによって得られた大きな成果
です。要求の一部は実現しますが、
まだまだ改善しなければならな
いことは山積みです。ま

バス関連支部(京王新労組)大幅賃上げ実現!

建交労首都圏運輸基本集団交渉団 20春闘 仮調印

建交労首都圏運輸
基本集団交渉団は、
3月11日(水)、
参加企業11社と2
0春闘交渉における
仮調印を行いました。
2月13日(木)
に一斉要求提出から
始まった20春闘は、
第1回目の交渉を2
月26日(水)に行
いました。冒頭に揆
拶した中島団長は、
トラック運輸産業の
現状に触れながら
「3回の交渉の中で、
低賃金・長時間労働
改善のため、誠意あ
る回答を求めたい。」



写真右:中島団長(神田支部 執行委員長)

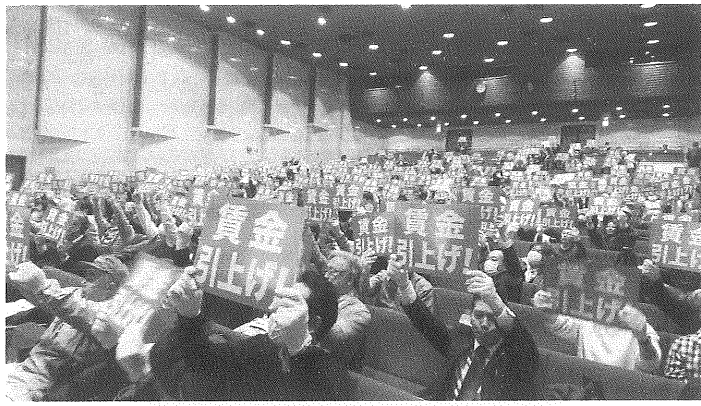
春闘の交渉状況の報告や質疑応答
が行われ、更なる前進を見据え団
結を深めました。来賓に駆け
つけて頂いた国土交通労組の安藤
中央執行委員長から激励と連帯の
挨拶を頂き、団結を深めました。
引き続き奮闘する決意ですので、
皆様のご支援をよろしくお願い致
します。

と訴えました。18歳最賃・65
歳定年延長・オリンピック労使協
議について企業側から有効な回答
を引き出し、トラックドライバー
の最低賃金を求める協定では、1
1社中9社が賛同・協力すると回
答。65歳定年延長については、
堀切運輸が「検討中」から「協議
中」へ回答を前進させました。第
2回目の交渉は、3月4日(水)
に行われ、有額回答が11社全て
からありました。しかし、賃上げ
については前年を突破した企業は1
社のみで、前年と同率・同額回答
が6社と大変厳しい回答となりま
した。神田が退職金の一部上積み
実施を実現するも、

に前年突破は4社、同率6社とな
りました。また、制度面では浅井
の定年延長について「検討する」
という前進回答、中央運輸で大型
・普通月収保障、退職金上積みの
修正回答を引き出しました。
最終回答について、組合で協議
し、制度要求に対する今後の回答
を期待して、争議通告を解除しま
した。今後、4月8日(水)に行
われる本調印と、夏季一時金交渉
にむけて奮闘します。

【首都圏運輸基本集団交渉団
副団長 上村 誠
(神田支部 副執行委員長)】

建設労働者2・19春闘イエローアクション



建設労働者の労働条件改善を目指し団結頑張ろう！

魅力ある建設業界を実現しようと、建設首都圏共闘と生公連は、合同で決起集会を開催しました。2月19日、東京都港区のニッショーホールで行われた「建設労働者2・19春闘イエローアクション」には、全国から42人の建設産別の仲間が集まり、建交労からは10名が参加しました。「災害復興における建設事業者の役割の適正評価と適切な処遇」「週休2日の実現に見」と力強く訴えました。また、来

賓に日本共産党田村智子議員、社民党福島みずほ議員らが駆けつけ、建設業界で働く労働者の労働条件向上のため国会で奮闘する決意をいただきました。学習講演会では、気候予報官で国土交通労組の梶田書記次長が、昨今の気候変動について報告し、気象庁が日本の温暖化についての情報を隠蔽してきた実態や、国のCO2削減へ向けた対策が極めて消極的である事について報告。また、国交労組関東建設支部の葛西副委員長は、江戸時代に開発された利根川・江戸川の河川管理方法について紹介し、水をコントロールする先人の知恵を学ぶべきと訴えました。現場からの報告では、建交労ダンブ部会・栃木県本部山内執行委員長が、台風19号による被災地にボランティアでダンブを無償で出動させた経験などを報告されました。今こそ、国や地方自治体の公共工事の予算を、大型開発から地域の防災・減災のための予算に切り替える時です。

【東京建設・関連部会 事務局 笹原 和樹】

**休んだら賃金補償なし
新型コロナで労働相談
非正規へのしわ寄せが横行**

新型コロナウイルスに関して、労働組合が労働相談を実施している。連合(3月4～5日)、全国ユニオン(3月7～8日)、全労連(3月9日)などだ。正規労働者を中心に、休んだ場合の賃金補償や、逆に「休めない」という悩み、正社員との差別、雇い止めの現実や不安への対処を尋ねる内容のものが目立ったという。

【全労連】解雇や雇い止めも全労連の相談には全国で300件、うちコロナ関係は147件。子どもの学校休校で親が仕事を休む場合の賃金補償などを尋ねる相談が目立った。雇い止めを告げられたという深刻なケースもあったという。福島の派遣労働者からは「子どものために1カ月休みたいと告げたら、派遣先から『別の人に代えてもらう』と言われた」、愛知のパート労働者は「子どもの体調が悪かったので検査したら、新型コロナウイルスは陰性。(自分が)休んだ後で出勤したら、『もう来なくていい』と言われた」などのケースがあった。全労連は「経営者からも相談が来た。従業員を休ませたら助成金が出るというけれど、具体的な要件や手続きが分からないというもの。労使とも不安の声が多い」と語っている。具体的な事例は後日発表する。

【全国ユニオン】非正規への差別相次ぐ 全国ユニオンの相談には99件が寄せられた。派遣労働者からの電話が多く、「仕事がなく、補償なし」「派遣先の正社員は自宅で仕事なのに、派遣労働者だけが出勤」など、正社員との差別を訴える内容が少なくなかった。正社員が自宅待機とリモートワーク(テレワーク)になった職場では派遣労働者だけが出勤しているという。電話をしてきた派遣労働者は「ぜんそくがあるが、リモートワークさせてもらえない。先日、正社員が出動してきたら、(上司から)『感染したら大変だから出勤するな』と叱責(しっせき)されていた。派遣は感染してもいいと思われているようで悲しくなった」。日々紹介やパートの労働者からは「休んでもパートは無給」「接客業で客が減り仕事がない。『うちに有給休暇はない』と言われた」「休業になり60%は支払われるが、生活できない」などの声が上がった。求職者からも「3月に就職する予定だった会社社主の仕事が韓国と中国だったため、仕事に行けなくなり内定取り消し」という訴えがあった。全国ユニオンは「4月から不合理な待遇格差を禁止する法律が施行されるのに、今回のコロナウイルス対策では全くそのことが考慮されておらず、許されない」と語っている。【連合通信3月号】

組合掲示板

- 4月4日(土) 13時半～第6期建交労東京学校第資本論講座第1回目/カンダコーポレーション会議室
- 4月18日(日) 10時～京王支援共闘会議高尾山宣伝行動/京王線高尾山口駅
- 5月1日(金) 10時～第91回メーデー代々木公園/井の頭公園西園競技場
- 5月3日(日) 12時半～5・3憲法集会/有明防災公園